学校番号	402

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「現代の倫理　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化や科学技術の高度な発展，情報化の加速化，少子高齢化の進展など，現代社会が抱える様々な課題とともに，青年期における自己形成の課題及び人間としての在り方生き方についての理解と思索を深めることが高等学校の生徒には求められています。このような趣旨を踏まえ，第Ⅰ部から第Ⅲ部の１．現代社会を生きる倫理までを学習したのちに，第Ⅲ部の２．現代の課題と倫理で取り上げられている現代社会の諸課題について主体的に考察する態度を養います。

2　学習の到達目標

①青年期における自己形成の課題について，現代の倫理理的課題とともに理解と思索を深め，他者とともに生きる自己の在り方生き方について考えます。
②先哲の基本的な考え方の理解を手掛かりとして，人間の存在や価値に関わる課題について思索し，人生観・世界観・価値観などを形成し，自己の人格形成に努める実践的態度を育成します。
③日本の伝統的な人間観，自然観，宗教観などの特質について，自己との関わりの中で理解し，日本人としての在り方生き方について自覚を深めます。
④現代の倫理的課題や生徒の当面する課題について，先哲の考え方を学びつつ，倫理的な見方や考え方を身に付け，主体的に課題を解決していくための能力や態度を養います。
⑤人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を涵養し，現代の倫理的課題を自己の課題と関連づけて探求し，論理的思考力や表現力を身に付けて，平和で民主的な社会の実現に寄与する態度を養います。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており，人格形成や自己形成の確立に努める意欲を持っている。 ○倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ，人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。	○他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し，現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を，様々な方法で論理的に表現している。	○自己形成や人間としての在り方生き方，現代の倫理的課題に関して資料を収集，整理し， 情報を選択している。 ○諸資料を自己形成のために主体的に活用し，追究した内容などを様々な方法で適切に表現している。	○青年期における自己形成や人間の在り方生き方，現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を自己の課題として理解している。 ○さらに，自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。
評価方法	○学習活動の様子や発表，討論などを評価のための資料とします。	○年４回の定期考査では，ペーパーテストによって習得の状況を評価します。 ○学習活動の様子や発表，討論などを評価のための資料とします。	○学習活動の様子や発表，討論などを評価のための資料とします。	○年４回の定期考査では，ペーパーテストによって習得の状況を評価します。 ○自己評価，振り返りシートを参考とします。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	青年期と自己の課題	自己の発見 将来のキャリア設計 他者とともに生きる 個人と集団 生命と自然の出会い	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	ａ．ｂ．ｃ．ｄ．現代社会の諸問題や，日本の現状を考えることから，生徒が生きている「いま」の状況を把握し，倫理学習の導入とします。 ｂ．ｄ．人生における青年期の位置づけ，特徴などについて考え，青年期特有の課題であるモラトリアムとしての時期，アイデンティティの確立，自己実現の追求，自己理解の方法などについて学んでいきます。	定期考査 発表・討論
前期	人間としての自覚	人生と哲学 人生と宗教 人生と芸術	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	ｄ．ギリシャ思想は，ソクラテス，プラトン，アリストテレスの思想を中心に理解します。また，その思想がどのように発展したのかを学習します。 ｂ．ｄ．儒家，老荘思想を中心に学習し，その後の中国思想の展開についても理解を深めます。 ａ．ｃ．世界の三大宗教であるキリスト教，イスラーム，仏教の基本的な考え方だけでなく，歴史的な成立過程や，発展，拡大の経緯についても理解します。 ａ日本人の宗教意識や宗教がどのような意味を持つものであるかを考えます。 c. 芸術（絵画・音楽など）の作品を通して，芸術家の考え方や生き方を学び，人間の心にもたらす豊かさや潤いなどに気づきます。	定期考査 発表・討論

前期	世界の中の日本人	日本人の人間観・自然観 日本人と仏教 儒教とさまざまな思想 日本の伝統的な美意識と文化 日本の近代化と西洋思想	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○	ａ．ｂ．ｃ．古代日本人のものの考え方を，精神風土との関係でとらえるとともに，宗教観・倫理観などについて考えます。 外来思想である仏教の受容や日本的仏教の特色，仏教と日本人の思想形成との関わり，無常観・美意識・武士道などにおける特色をとらえます。 ａ．ｂ．ｃ．ｄ．儒教の日本的展開や国学，庶民の思想，農民の思想，幕末の思想，西洋文化との接触などについて理解します。 ａ．ｂ．ｄ．西洋文化との接触後，啓蒙思想，自由民権思想，国家意識，キリスト教思想などと日本人の思想形成について理解します。 ｂ．ｄ．西洋思想を主体的に摂取する中で，独創的な思想が形成されるようになるが，その内容について理解します。	定期考査 発表・討論
後期	現代社会を生きる倫理	人間の尊厳の思想 自然と科学技術 民主社会の成立 近代の理性的人間像 人生と働くこと 幸福と生きる力 真実の自分を求めて ヒューマニズムと人類の平和 新しい知性と現代の思想	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ａ．ｂ．ｃ．西洋の人間観と人間尊重の精神について，ルネサンス，宗教改革，合理的精神（ベーコンとデカルト），社会契約説（ロック，ルソー），カントの思想などから理解します。 ａ．ｂ．ｄ．近代市民社会の持つ矛盾や克服を課題としたヘーゲルの人倫思想，功利主義，社会主義思想などについて理解します。 ａ．ｂ．ｄ．人間や社会の在り方の急激な変化による近代的な理性への問いなおしとしての実存哲学，フランクフルト学派，構造主義など現代思想の人間観を理解します。 ｂ．ｃ．地球的規模での倫理的課題の解決のために，科学技術の基礎にある自然観の再検討が必要であることを，生命への畏敬の念について考慮しつつ理解します。 ａ．ｄ．民主社会の実現のために，あらゆる差別や偏見などの解決が求められること，またそれらとどのように関わっていくかを認識します。 ｂ．男女差別の解消や，フェミニズムやジェンダーの問題を考えます。 ｄ．アリストテレスの正義の考え方や社会契約説，功利主義などを復習しながら，ロールズとセンの考え方について理解します。	定期考査 発表・討論

後期	現代の課題と倫理	生命倫理 環境倫理 家族と地域生活 情報社会 世界の文化と宗教 国際平和と人類の福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	ａ．ｂ．ｄ．今日の生命や死，医療の問題について理解を深め，人間としての在り方生き方について考えます。 ａ．ｂ．ｄ．核家族，少子高齢化，高齢社会の中での「老い」などについて考えます。 ａ．ｂ．ｄ．今日の地域社会のあり方について理解を深め，これからのコミュニティを考えます。 ｃ．情報社会とは何か，その中でのメディア・リテラシーとはどうあるべきかを理解します。 ａ．ｃ．ｄ．グローバル社会における文化と宗教のあり方について考えを深め，多面的なものの見方や共生のあり方を模索します。 ａ．ｂ．ｃ．ｄ．現在の環境問題の基本概念をふまえ，倫理的課題を明確にし，持続可能な社会のために必要な在り方生き方について考えます	定期考査 発表・討論

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。